

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	前 橋 育 英	14	10	26	23		73
主 審	増 淵 泰 久	副 審	岡 龍 哉	B 2	取 手 二	19	17	18	16		70

前橋育英高等学校(群馬)

コーチ 加賀谷 寿 A・コーチ 鈴木 隆之 マネジャー 永井 優斗

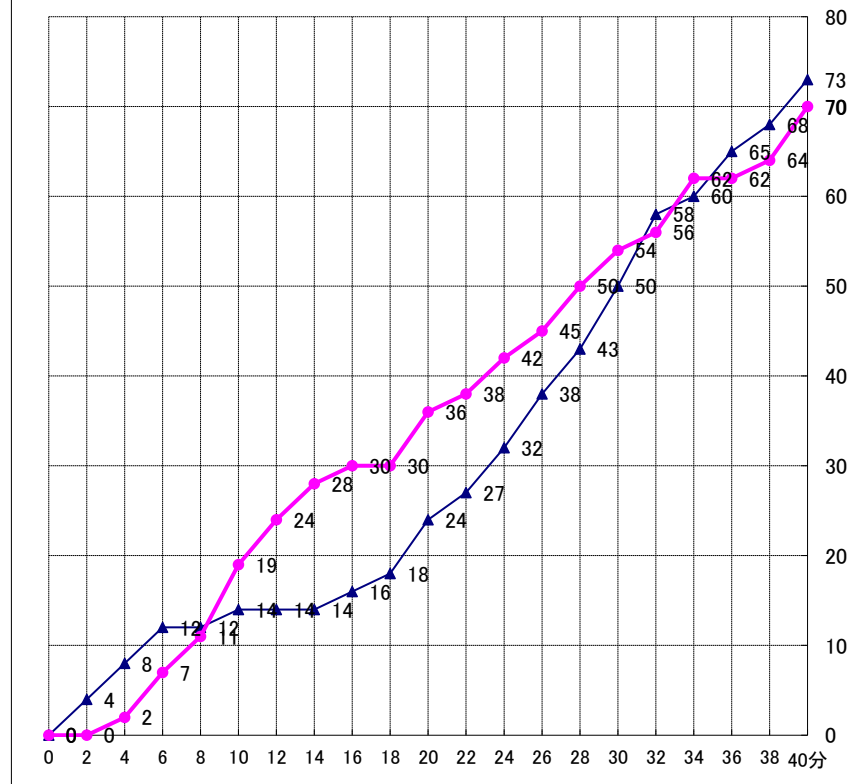
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
近藤 虎ノ介	4	5	0	2	2	8	1	1	3	2	6	8
萩原 健斗	5	8	0	0	4	10	0	0	3	2	2	4
土田 昇平	6	10	0	3	5	13	0	0	0	3	7	10
入澤 翔	7	16	0	0	7	13	2	2	2	12	6	18
村上 翼	8											
齋藤 亮太	9											
鈴木 海都	10											
高橋 雅樹	11											
向 奏瑠	12											
田中 勇颯	13	10	0	0	5	10	0	0	3	4	3	7
野本 康悟	14	24	2	11	6	12	6	11	3	0	7	7
高橋 涼太郎	15	0	0	1	0	3	0	0	1	2	1	3
高橋 佑太	16											
渡部 輝	17											
川上 航生	18	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
チ ャ ム									0	2	4	6
合 計		73	2	18	29	69	9	14	16	27	36	63
		成功率	11.1%		42.0%		64.3%					

茨城県立取手第二高校(茨城)

コーチ 佐藤 豊文 A・コーチ 山口 淳一 マネジャー 斎藤 巳由宇

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
田中 辰弥	4	12	2	12	3	6	0	0	1	0	7	7
山田 康祐	5											
中川 祥一郎	6	28	4	18	2	6	12	14	4	0	5	5
宇留嶋 晴哉	7											
坪田 麗	8											
古沢 斗真	9	2	0	0	1	2	0	0	2	3	0	3
宮内 郁人	10	10	0	4	5	8	0	2	2	1	0	1
佐野 豊	11	16	2	2	5	5	0	1	4	0	5	5
田村 佑人	12											
瀧野 敦	13											
野島 海	14											
柄澤 慎太郎	15											
鈴木 勇衣	16	2	0	0	1	3	0	0	3	0	2	2
石黒 亮平	17											
小林 遼	18	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	2
チ ャ ム									0	1	5	6
合 計		70	8	36	17	32	12	17	17	5	26	31
		成功率	22.2%		53.1%		70.6%					

得点経過



戦評

第1Q、第一試合延長の余韻の残る中、定刻より10分遅れで試合開始。ディフェンスはお互いハーフマンツールの入り。先制は前橋育英⑭野本。しかし、両チームとも初戦の緊張からか攻め手を欠き膠着状態が続く。中盤、両チームとも一歩も引かないゲーム展開であったが、第1Q終了直前、取手第二が3Pを決め14対19とリードをした。第2Q、前橋育英ボールでスタート。このクォーターも重い立ち上がり。得点の中々動かず、開始3分で取手第二がタイムアウトを取る。その後、取手第二が④田中、⑥中川のドライブなどでじわじわリードを広げる。一方、前橋育英はシュートまではいくものの、リングに嫌われ開始後4分30秒まで得点が入らない。その後も得点が伸び悩みのこのクォーターは24対36と取手第二がリードを広げた。第3Q、前橋育英は相手ゴールに果敢に攻め、ファウルを誘いフリースローもしっかりと決め点差を徐々に詰めていく。取手第二も引けを取らず応戦するも相手にオフェンスリバウンドを許してしまう場面が多く、⑥中川の連続3Pなどで何とかリードを保ったが、このクォーター50対54と前橋育英が4点差に詰め寄った。第4Q、前橋育英はインサイドにボールを集め、立ち上がり同点に追いつく。その後⑬田中のリバウンドシュートで逆転に成功。取手第二はたまたまこの試合2回目のタイムアウトを取る。その後、両チームとも一進一退の攻防を繰り返す。残り時間3分で68対64と前橋育英が4点リードの展開。取手第二も3Pで応戦しようとするがシュートが外れ点差を縮められない。逆に前橋育英は⑭野中の3Pが終盤決まり取手第二を突き放した。しかし取手は残り時間8.2秒で2点差としファールゲームに持ち込むも、追い上げが一歩及ばず73対70で前橋育英が勝利した。

記入者 草地 由紀也